（二十七日夕刊）

休刊　大祭日　毎月第三日曜

定價　一ケ月　二錢　郵税　六十錢　十五錢

廣告料　並行六十錢　指定廿錢　特

発行兼編集人　鹽沼鶴輔

福島縣平町田町十六番地

發行所　磐城新聞社

電話五六四番

此の融合の上に（二）

（磐水會紹介）

在東大　澤田隆義

（二）守成時代の磐水會

磐水會は社會の動きを靜觀しつゝ會内部の融合により互に正しい批判を求めて來つた。大正拾年から昭拾年迄の八の世の變化に全くすさまじいものであつた、友誼團体も益々自然消滅の度を進めたのである。然るに磐水會は之の守成時代の難路を潜ぐり抜けて今や磐中出身者の團体としては嚴然たる確固たる姿を作つた。何故であるか。

昭和に水高主催の各種大會に於ては磐水會の諸先生は必ず磐水會の動きを融合の氣分に浸つて歸へられたであらうし、また出席した後輩諸君は之の磐水會自体を持つ一大きな融合の氣分に感銘を感じられたであらう、之が故である。

その創業時代に於いて弁護士は「真の融合」を叫んだ。之の叫びが決して我々の勝理から消え去るものでない。よしんば社會狀態如何になろうとも所謂左右翼立かどうあろうと之の我々の會の持つ理想は何等變化は起しぬのである。部内の活動にあるものはその活動を通じて見た自己と社會との交感に親しむ者はそれを通して居た見解を更に法律研究に志す者はその研究に伴つて生じた意見を皆持ち集つて語つた。批判は各人の自由である。若い人間の先輩に金成、草野、比佐、

我々の集合はかくして理解の正しい進歩に何時も努力した一方一心と身の鍛錬爲めに一團と爲つて熱烈せよ』と云ふ先輩の言の下に運動も怠らなかつたのであると意思疏通なる言葉が若し適當に用ゐられる處があつたならそれに我が磐水會下ならう。『真の融合』は單に物語る事に依つて生じはしない。眞の目的人の五とどの色沼とを踏む事に依つて明かに爲となつて來たのである。

碧青は青碧の色を發せしめ、九紫は紫を發せしめ、自から集まり來るべし長と西と甲が吉

講談

幕末奇傑高山彦九郎

（146）

中西洋々作
市施長春畫

愛宕山の會合（一）

彦九郎夫婦の家庭は隱居

明日……五月新月
吉の凶……暦一日　暦八日

▲一白　心を輕く持ちて沈まぬ様にすべし世話事凶坤と東と壬が吉▲二黑　一念を集中して心を外に散らすべ吉日たり庚・丙と丁が吉▲三碧　小挫かを氣に掛けず心を闘まして進むべ丙と壬と丁が▲四綠　出費もあれども側より入り來る日乾と長甲が吉▲五黄　虚榮心を去りて實利一方に傾きはげむべ丙と壬と東が吉▲六白　一喜一憂出入も又常ならざる日萬事に注意西と巽と東が吉▲七赤　外に奮闘する時は財自から内に集まるべ巽と坤と乾が吉▲八白　突進し戒しむべきも後退すべき時にあらず東と西と坤が吉▲九紫　其位に安んずれば福

ハムよりうまい
鹽豚販賣
田町
三二三屋

紙上相談

養家を飛出す

養親と折合つて

自分は幼年の折から貧しく他家に養子に遣られ漸く人となる頃養家を飛出し獨立辛苦の結果昨今では幾分地位資産を得る様になりましたが是れより先養家に在つては自分を將來見込なきものと認めその後私の無斷家出を理由として裁判上の養子離縁を請求しすでに裁判確定したるも戸籍上は依然養子となりある姿です斯くては自分としても今後一身上彼此差支を生ずる故再應養親に迫り離縁届出方を交渉しましたが今度は却て反對に容易に離縁しては呉れません

幾ずれも養子の

[illegible]

さんがためかさなくは故意に自分をして困る立場に陥れんがために斯る行動に出づるものとも思はれます何とか實家に歸る方法はありませぬか　（一浪人）

貴郎の成効を祝します一層堅忍持久より以上の發展を祈ります次ぎに本問の答へに移ります貴郎が養家に在る間の養親子間の心境所過は何うであつたかは不明なるも假に養親が貴郎につらく當つたとしても親は親なり親子の儀禮情誼に物つてはいけません　君、君たらずすれば臣、臣たらずとは誠が感言かゆめ淺間敷必根を出してはなりません。佛教にいよ一河の流、一樹の陰、袖擦り合ふも地の縁とやくわきて一時も縁うすん

だ以上は何等かそこに因果關係あるものと深く深く私は考へ思ひを致し篤と養親との際自分等兄弟及親族兩三名を側に招き俺が死んだらみ殊に物質上の要求に就いては充分に讓歩し若し與へよそその他は長男の物と養親にして尚且頑迷貪慾せよと言ひ遺して死にましたその後自分は上京し商業を得ませんに從事しる内に不意に國の兄より分家せしむるから切れました先づ裁判所への届書に署名捺印して呉れと申込んで來たが自分は駄け付離縁の判決確定謄本をとりその謄本を本籍役場に提出せば役場にたけて貰へば分家しないこといては一應養親に對し離縁の届出をなす様催告を今に兄より何の挨拶もない右は父の遺言通り畑二枚は私の所有にならぬものですか伺ひます　（勝田生）

遺言の効力ない

遺言の方法には一、自筆證書、二公正證書、三秘密證書、四特別方式による證書の四種あります。貴郎のは强て申さば第四

臨終に口授

の部類に屬する遺言と見れば見られぬ事もない様です、さりながら右特別方式による場合は事危急に際したるときたとへば病氣ならばその病勢昂進し命旦夕に迫る時證人三人立會の上本人が遺言の趣旨を口述し證人の内一人がそれを筆記し遺言及他の證人に讀み聞かせ各證人がその筆記の正確なることを承認し後署名捺印し二十日以内に裁判所に清求し本遺言書の確認を得て始めて効力發生するもの故貴郎のはその方式を踏んだものとは思はれぬから違法ながら遺言執行の効力なきものと認めます。參照條文民第[illegible]

遺言は父の遺言通り畑二枚は私の所有にならぬものです

（勝田生）

遺言の効力なきものとは思はれぬから違法ながら遺言執行の効力なきものと認めます。參照條文民第一〇六七條乃至第一〇八六條

――もし、御都合惡しくて候はゞ十五日、それにても御都合あしきときは二十日、拙者方にありては五日毎に愛宕山頂上に登つて待ち申もべく……

――ついて別れを惜しむ風情で

「たゝ、お清か」父としてひこ九郎も弱い男です。双の手に抱いてしばしの別れを告げるのでした

「父さま、およしも抱いてやつて下さいませ」

側からかういつて自分の手に抱いた次女のおよしを差し出しては寂しくほゝゑむお光の目には涙が宿つて居りました。

「はい、よう心得て居りま

「父さま〜」とまつはり

長女のお清もまはらぬ口

「はい、よう必得て居りま

白鶴の雪
松本德一吟釀
平電話七五二
芳醇無比

平町田町
高久病院
醫學士高久忠
新潟醫學士赤羽清
藥劑士佐竹菊雄
電話五一三番
内科小兒科、
外科花柳病科、
耳鼻咽喉科、
レントゲン科、

夜診
胃腸
内科
十二指腸病
專門
内科部
腎臓
淋病
婦人病
皮膚病
專門
外科部
松村胃腸科醫院
（平南町電話一〇七番）
療問

生花教授
家元龍生派池坊
生花、盛花、投入自然
營業では御座いませんから趣味で御相手致し度うございます
平町仲町三（電話六二五番）
華道教授
天水庵　岡田華悅

春夏向の
小供洋服生地と
新柄レース
一寸巾から二尺巾まで
澤山入荷致しました
婦人手藝材料
ハシモトヤ糸店
平町田町

特賣!!
たひら正宗
福島縣清酒品評會一等賞受領
花春
同優等賞受領
鹽醬油釀造元
屋
山崎合名會社
電話一〇番

一九三〇年式の浴衣御案内
粹で！高尚で！！現代的な！！
婦人倶樂部浴衣　昭和調　婦女界ゆかた
リーグ戰浴衣　給羽模様構成浴衣
外十數種豊富に取揃へて
陳列致してあります
洋傘と本セルの特賣
三井呉服店

磐城炭礦。最優等炭
石炭　正味十貫目　一俵金六十錢
東京瓦斯コークス一等
コークス　一俵金　圓廿錢
木炭代用。無煙無臭。家庭用炭
玉炭　一箱金貳圓也
石炭ハ日方ノ正確ヲ期スル爲メ正味十貫ヨリ一俵ノ標準ト定メマシタ
配達迅速（電話二三七番）
磐城炭礦販賣總代理店
阿部石炭商店

最新流行
各國時計
ユビワ
眼鏡類
特安賣
金時堂
高橋時計店
平町土橋通り

セイコー時計の値下斷行
景品は特賣
金解禁と…國産品の愛用…
景品總額金拾貳萬圓
景品内譯
一等　蓄音器壹台　三百六十本
二等　置時計壹ケ　五百本
三等　置時計壹ケ　一千本
四等　目覺時計壹ケ　五千本
五等　特製ナイフ　全部へ
時計は信用ある精工舍製品を
特約店　平三
大谷時計病院
電話十九番

廣告
痔の最高内服藥
ダイサン錠
鼻のクスリ
チクノール錠
平町五丁目角
山野邊藥局

吉田眼科醫院

無理は双方に在り 喧嘩両成敗

結局藪蛇に終った 四倉の角網問題

石城郡四倉漁業組合の角網定置漁業は久の濱組合から漁業權侵害であると再々縣に免許取消しを陳情し容易に両者の抗爭解決しないので既報の如く縣は二十三日大塚商工水産課主任属並に五十嵐技手を派遣し慎重調査を為さしめた結果

四倉の角網漁業は久の濱側の言ひ分の通り許可の千九百四十間の範圍を縮め約二千七百間の沖合まで投網設備をなしあつたので直ち監視船福島丸を廻航し許可範圍の千九百四十間の沖合個所に完全なる標識を立て若し再び範圍を犯す場合は断乎たる處分をとる旨組合に厳重申渡し更に久の濱組合の大敷網に對してもこれを調査したところ

四倉側の若情を云ふ如く許可千六百間に對し約千間を越長投網してゐることを発見したので縣は四倉同様久の濱に對し厳命するとともに大塚属一行は二十六日一先づ歸廳したが五十嵐技手は引続き滞在福島丸で監視を続けてゐたが縣の方針は両組合共縣の許可範圍を超ねる場合は容赦なく投網を没收することに決してゐる

勿来の火事に罹災救助

石城郡勿来町炭礦長屋の去る二十三日夜の大火に對し縣では罹災救助法を適用することになり二十六日加賀庶務課長は調査のため出張

毎月給料の十圓を 學校基金に寄附

十ケ年間継續して 四倉の醫師と吏員

四倉町に隠れたる篤志者として今回言勳局より褒状を下賜せられた人が二人ある

同町醫師額賀襄氏は去る大正九年より昭和四年迄十ケ年間継續して四倉町教育費、一部に寄附せられた金額五千五百三十九圓の多額に達し同町役場吏員同町町長谷川林平氏は去る大正九年より昭和四年迄十ケ年間毎月自分の俸給中より圓宛を同町教育費に寄附せられたる金額千五十九圓に達してゐるが時節柄賞揚されてゐる

坑内で慘死

トロに飛ばされ

内郷村大字御殿山鈴木一郎（二七）は高坂坑内に於て廿六日午前二時頃トロの爲に跳飛ばされ面部胸部に重傷を負つたので附近の病院に擔込み手當を加へていたが正午に死亡した

會長には酒井氏か 役員全部改選

大体の顔振れ決定す

石城郡醫師會總會は既報の如く今二十七日午後一時より平町常磐銀行平支店樓上に於て開催した、本稿締切りまでには何等の續きなりたいが當日の呼ぶたる役員改選問題は會長市原卯太郎氏退職の決意固き爲めに後任選出に難渋し途拓し難く爲めに後任會長に副會長、理事の選挙を行ふ筈であるが後任役員は大体左の諸氏に決定するものゝ觀測である

△會長＝酒井國二郎△副會長＝大森勇、同清水鳳吉△理事＝藤沼次郎、村和鐵郎、会津快美、若松信子（以上）

漁港速進運動

四倉町

町が港促進運動のため新要望町長を初め漁業組合長、四倉町成名

人は要らぬか

平町職業紹介所

平職業紹介所では昨二十六日より丸一日に亘る全國求人開拓デーを期し專ら求人方面を開拓し失業救濟宣傳に努力してゐるが同所並に伏見町長左の趣意書を各方面に配布した

紹介所の仕事

謹啓益々御清祥之段奉賀候陳者職業紹介事業に就ては毎度御後援を添ふ雖有奉存候以御陰本事業も逐年進展罷在候へ共打續く不景氣は益々深刻と相成之に伴ふ失業者は總々増加するに反し求人口は殆んど無之爲め當紹介所に表はれたる先月中の統計に依るも就職し得ざるもの求職者總數の半數以上にして之を全國各職業紹介所を通じての集計より見る時は數萬人の多數に上り今後益々増加の傾向に有之而して是等失業者は孰れも就職の志を有し然も立派なる働手にして一日も早く働くべき職なくして路頭に迷ひ居る有様にて是等失業者を救濟する事に就ては其筋に於ても夫々對策を講せらるつゝあり處なるも職業紹介所としては日々是等失業者に直接して紹介の職せしめ之を救濟すると共に求人者各位の福利を増進せんとするものなるも求人者あつての紹介にして職業紹介所自体は本來の使命は職業を御造るものに無之關係上りこれが紹介斡旋は是非共御會一般各位より本事業に對する御理解と御協力に依るに非らざれば其効を挙げ得ざる次第に御座候間上局に於ても現下情勢に鑑み今回特に求人開拓週間を設ける五月一十六日より同月三十一日迄全國職業紹介所を一斉に全力を挙げて就職口の開拓に努力する事、相成申候就ては國家社會の爲め共存共榮の御思召を以て人員の多少使用期間の長短に係らず我々の微衷を御賢察の上進んで當職業紹介所を御利用の上飢餓に迫れる失業者に職を與へらる樣特に御配慮相煩度別紙【求人開拓週間趣意書】一部及「人は職業紹介所から」相談へ此段及御依頼候也

昭和五年五月

平町職業紹介所長　伏見彦衛

求人開拓週間

我國現下の狀勢を顧みますと打續く不景氣に因りまして各方面に亘り就職の機會を得ない人々が尠くありません。試に最近全國の職業紹介所に現はれた狀勢を見ると求職登録者中未だ就職の出來ない人が六萬有餘人に達して居るのであります此等の人々は働ける身體を持ち、働く意志を持ち、働く可き職が無くて困つて居るのであります。之は個人にとりましても又國家社會にとりましても此の上も無い不幸であり損失であります。

此等の人々の救濟の爲には種々な對策が講ぜられて居りますが、此の際職業紹介所の機能を向上促進して其の活動に依つて出來得るだけ人を求むるものと職を求むるものとの結合を圖つて速に就職の途を講ずることが極めて緊要なことゝ考へられます。

職業紹介事業は大正十年職業紹介法施行以來各國共に公益無料の主義の下に求人者求職者相互の利益の爲に活動を致して居る次第であります。我國の現下の狀態は最早や一人の就職口をも見出すことが出來ず又一人の求職者を紹介就職し得られざる狀態でありますから

職業紹介事業は本來の性質から見て新に職を創造するものではありませんが、吾々職業紹介事業に携はる者の此の際職業の勞力を拂つて此等の人々の爲めに速に職業を講ずる樣に努さなければならぬと考へます。

併し此の事、職業紹介所だけが如何に努力致しましても、社會一般協力が無ければ其の效を收むることは出來ません。

結局大方の各位が職業紹介所の使命を御了解下さつて、多數の失業者を此の際職業の御世話を以て人員の多少使用期間の長短に係らず我々の微衷を御賢察の上進んで當職業紹介所を御利用の上飢餓に迫れる失業者に職を與へらる樣特に御配慮相煩度別紙【求人開拓週間趣意書】一部及「人は職業紹介所から」相談へ此段及御依頼候也

昭和五年五月

平町職業紹介所長　伏見彦衛

求人開拓週間

我國現下の狀勢を顧みますと打續く不景氣に因りまして各方面に亘り就職の機會を得ない人々が尠くありません。試に最近全國の職業紹介所に現はれた狀勢を見ると求職登録者中未だ就職の出來ない人が六萬有餘人に達して居るのであります此等の人々は働ける身體を持ち、働く意志を持ち、働く可き職が無くて困つて居るのであります。之は個人にとりましても又國家社會にとりましても此の上も無い不幸

遊戯中に政坊轢かる

湯本町で

湯本町上町北佐國之助次男政一（五）は廿七日午前八時前年より一工場を増設し自宅前の道路に於て遊戯中、これが作業員數は男六折から疾走中の自動車に跳ね飛ばされ前額部に重傷を負合計一千百三・九名で前年百八名、女五百三十一名、

風紀取締違反 九十六名

平署四年度中

平署管内で四年度中に於て風紀取締法違反として處罰された者は左の九十六名である

△料理、料理業三六（内許可宿泊業・他）△藝妓五（無届外泊）△酌婦一八（客引）△底女十二（酌婦行為）△飲食店二△其他一△料理、料理店八（密淫賣春）△酌婦一三（密淫賣）△藝妓一（密淫賣）

自動車路許可

平町から内郷村宮に通ずる道路

平町は交通頻繁で同區間を目的路線として自動車運轉の出願があるので當局では調査中のところ終了したので近く自動車路線として許可することになつた

約九十に達する 平署管内の工場

人員は減少したが 現在千百餘名

平署調査による同署管内にある百八十六名増加であるがこれは片倉製糸が前年より二百二十九名増した關係で一般工場からは四十九名減じ居る譯である工場の一つなる平町の小貫相場は二十角時計三個を窃取した事發し裏並に田町邊か甚だしいのでいよ〳〵數年來の懸案である整理を断行することなり目下係員が實測を行つてゐるが各所共三尺乃至五尺著しきものは一間近くも道路が兩側より喰込まれしも狀態で整頓を禁じ得ない仕末にそれ〳〵標識を打込容しやなく門垣板塀等取拂を命じてゐるので悲鳴を上げてゐるが中に家屋の軒先なども顧慮猶豫せず規定通り引込ませる方針なので相當困窮してゐる

時言

四倉角網の尻を掘つた久の濱側、遂ひに藪蛇の逆襲ネジを喰ふ

□他を呪ふもの六二ッ、我慢主義者には挑へむきの仕事例

□市原會長勇退、醫師會役員選挙平穏裡に終る

□聞くさい氣持ちよい鰹だより、石城濱俄かの活況

鰹の大群が 石城沖に來遊

七濱俄かに活況

石城郡各濱の漁船は鰹漁期豫定であり各濱は之が釣獲に入り續々平葉縣方面に出漁したが江名町萬盛丸は二十日午葉縣銚子沖合に於て約百千尾を獲得して東京濱に入港した由であり小名濱縣水産試驗場城丸は二十日銚子沖で六百尾の鰹を釣獲して小名濱港に歸港した鰹の水揚相場は十七圓であり平町の小貫相場は二十圓である鰹群は最近伊豆沖に游してゐたが漸次北進しつゝあり目下千葉縣銚子沖迄來てゐるから來る五六日頃迄には本縣沖合に來る

荒し廻つた十六の少年

平署に捕はる

石城郡湯本町本町今藤正市（十六歳）は廿六日夜小名濱等は殆んど宅地か何か判じ町を明神町内山伊吉方に忍び自動車を窃取した事發し平署員に逮捕され取調中にあるが去二十日午後十時頃平町紺屋町住吉屋本店前に置てあつた平町電工夫遠藤某の自轉車を窃取した事も自白餘罪取調中である

けふ平署で武道試合

平署では二十七日午前十時から同署道場に於て歌川警部補を始め部長を迎へて同署員六十名の個人三本勝負による剣道並に柔道試合を行ふが判は剣道鈴木部長、柔道池澤巡査で柔道組合左の如し

△鈴木、宮宮内△今野―馬場△二瓶―古山△池澤―五十嵐

石城の春蠶 發育良好

出廻來月初旬

石城郡下の春蠶は既報の如く二割方の増收を豫想されしゐる上に暖温のため發育も促進され四五日中には上簇となる模様で繭の出廻りは六月五六日頃かららしく各市場は開場準備を急いでゐるが四倉市場は過般勝へした乾燥機の取付を終つたので二十六日試運轉をなした結果二三日内に幹部會を開き開場時期を決する事となつたが六月七八日頃になりうと尚植田勿來兩市場も大体その頃となる筈

四倉港縣費 支辨編入

正式告示さる

既報の如く石城郡四倉港の縣費支辨港灣編入は内務省から自由港に許可され、その他縣では縣費支辨に編入する事に決定してゐたがいよ〳〵二十六日縣告示第二百五十三號を以て四倉町地先四倉港を縣費支辨港灣に編入することを正式に公布された

平町有地の調査終了

今度こそ賣却

平町では町の發展に伴ひ町有地漸次蚕食され路地小路等は殆んど宅地か何か判じ難い狀態となり殊に本町通り裏並に田町邊か甚だしいのでいよ〳〵數年來の懸案である整理を断行することなり目下係員が實測を行つてゐるが各所共三尺乃至五尺著しきものは一間近くも道路が兩側より喰込まれしゐ狀態で整頓を禁じ得ない仕末にそれ〳〵標識を打込容しやなく門垣板塀等取拂を命じてゐるので悲鳴を上げてゐるが中に家屋の軒先なども顧慮猶豫せず規定通り引込ませる方針なので相當困窮してゐる

良品廉賣に勝る 商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅鐵 久 釜屋商店
磐城國平町五丁目 電話九番 一三九番 振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は久の生命なり

無料 視眼 TOKIWAYA
皆様の御眼にピッタリ合つた 眼鏡は……
専門醫師の検眼で……
正確で工合よい 時計は……
是非當店にて……
電三三九 平壷 常盤屋時計店

營業種目
内地材 材木各種、羽柄材各種 建築諸材請負 鑛山用坑木其他諸材請負
外材部 米松、米杉、大角製材調達請負 其他
佐藤材木店 常磐線平町新川町 電話三二三五番

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋疾 市原三三男
皮膚病 平町田町本通
市原醫院 入院隨時 電話一一四番

内科、小兒科 入院應需
花柳病科
藤沼醫院 平町紺屋町 電話平局五〇七番